

ARIBからのお知らせ

第70回 電波利用懇話会開催のお知らせ
「地上デジタル放送推進総合対策（第4版）と具体的施策について」

地上テレビジョン放送については、2011年7月24日までに地上アナログ放送を終了し、地上デジタル放送への完全移行が予定されています。

総務省では、2008年7月に地上デジタル放送への移行に向けて実施すべき施策を整理するとともに、「地上デジタル放送推進総合対策」として取りまとめました。また、施策の実施に必要な経費を平成21年度第2次補正予算案及び平成22年度予算案に計上するとともに、「地上デジタル放送推進総合対策」を改訂し、1月22日に開催された「地上デジタル放送国民運動推進本部」へ報告しました。

本報告書には、2011年(平成23年)7月の地上デジタル放送への移行期限に向けて、すべての国民の皆様が地上放送のデジタル化への対応を完了し、引き続きテレビを視聴することができるよう今後実施すべき施策等がまとめられています。さらに、地上デジタル放送難視聴地区対策計画や、衛星を利用した暫定的難視聴対策の実施に向けた具体策等も公表されています。

こうした、最近の地上デジタル放送推進総合対策及び関連する具体的施策について、総務省情報流通行政局地上放送課の原田課長補佐をお招きし、ご講演いただくことといたしました。

記

- 1 日時： 平成22年3月16日（火）午後2時から3時まで
- 2 会場： 社団法人電波産業会 会議室（日土地ビル11階）
東京都千代田区霞が関1-4-1
- 3 題名： 地上デジタル放送推進総合対策（第4版）と具体的施策について
- 4 講師： 総務省 情報流通行政局 地上放送課
課長補佐 原田 秀雄 様
- 5 対象： ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者： 70名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）

- 申込先： 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp>) の「講演会等開催案内」から
- 8 参加費： 無料
- 9 問合せ先： 当会 企画国際部 電波利用懇話会事務局 芝山まで 電話：03-5510-8592

「MMACフォーラム講演会2010」開催のお知らせ

マルチメディア移動アクセスフォーラム(会長：齊藤忠夫、以下MMACフォーラム。)では、マルチメディアを「いつでも、どこでも」取り扱うことができ、光ファイバ等とシームレスな接続が可能で、持ち運びできる超高速・高品質な無線アクセスシステムであるマルチメディア移動アクセス (MMAC) の開発を目標として、調査研究、システム仕様検討、実証実験、情報交流及び普及啓発活動等を行っております。

このたびMMACフォーラムでは、無線アクセスシステムの可能性を広く知っていただき、MMACの一層の活性化に役立てられるよう「MMACフォーラム講演会2010」を開催いたします。ぜひご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日時 平成22年3月15日 (月) 14:00から17:10まで
- 2 場所 明治記念館「富士の間」東京都港区元赤坂2-2-23
(東京メトロ 青山一丁目駅 (2番出口) から徒歩6分、
又はJR信濃町駅から徒歩3分)
- 3 実施機関 主催 マルチメディア移動アクセスフォーラム
後援 社団法人電波産業会
協賛 IEEE 東京支部
- 4 講演
- (1) IEEE 802.11の標準化動向
市川 武男 (日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所
ワイヤレスシステム イノベーション研究部 主幹研究員)
- (2) 欧州におけるUWB規格化の検討状況
佐藤 英昭 (MMACフォーラム UWB-WG副主任)
- (3) 車内の広帯域無線伝搬特性について (仮)
梶原 昭博 (北九州市立大学 国際環境工学部長／工学研究科長 教授)
- (4) ISM帯を利用したダイナミックスペクトラム制御アクセスシステム
太郎丸 真 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 波動工学研究所
無線方式研究室 室長)

- 5 参加者 電波に関連する産業界及び一般の方々 250名
- 6 参加費 無料（事前登録制）
- 7 申込先 ARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp>) の「講演会等開催案内」から
- 8 問合せ先 社団法人電波産業会内 MMACフォーラム事務局 難波、清水まで
電話03-5510-8594 E-mail mmac2010[a]arib.or.jp
(スパムメール防止のため、「@」を「[a]」に換えて表記しています。)

総務省からのお知らせ

電波資源の拡大に資する新たな研究開発課題の提案募集

【平成22年2月3日 総務省報道資料】

総務省は「電波資源拡大のための研究開発」において、平成23年度から新たに実施する研究開発課題の選定に当たっての基礎資料として活用するため、本日から平成22年3月3日（水）までの間、次のとおり提案募集を行います。

1 背景・目的

昨今の無線技術の革新に伴い、電波を利用した様々なサービスやビジネスが普及してきており、今や電波利用システムは国民生活には欠かせないほど重要なものとなっています。さらに、少子高齢化や地域活性化等、我が国が抱えている様々な社会問題への解決策として、新たな電波利用システムの登場に期待が寄せられています。しかしながら、使い勝手の良い低い周波数帯は極めてちゅう密に利用されているため、電波利用システムの導入が困難となっているのが現状です。

総務省では、新たな電波利用システムの導入に向けて、有限希少な電波の有効利用を推進するため、平成17年度から電波資源のより一層の拡大を可能とする技術の研究開発を大学・民間機関等に委託して「電波資源拡大のための研究開発」を実施しています。

今般、電波資源の拡大に資する新たな研究開発課題の提案を広く求め、平成23年度から新たに実施する研究開発案件の検討に当たっての基礎資料として活用することを目的として、提案募集を行います。

2 募集期間

平成22年2月3日（水）から平成22年3月3日（水）まで

3 提案要領

(1) 募集対象

今回提案を募集する研究開発課題は、次のア、イを満たすものです。

ただし、既の実施している研究開発課題と重複するもの及び既開発済みの技術で研究開発要素がないもの並びにこれらの組合せは対象外です。

なお、既の実施の研究開発課題の詳細については、以下の電波利用ホームページ（電波資源拡大のための研究開発の実施。）を参照してください。

[＜http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/fees/purpose/kenkyu/index.htm＞](http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/fees/purpose/kenkyu/index.htm)

また、今回の募集には、研究開発の委託先の募集は含まれません。

ア 電波の有効利用に資する技術に関する研究開発課題であること。

例えば、次のような技術が該当します。

(ア) 現在使用されている周波数帯域の圧縮など、電波の効率的な利用を図るための技術

(イ) 既存無線システムの下で、新たな無線システムの共同利用を可能とする技術

(ウ) 高マイクロ波帯やミリ波帯等の未利用周波数帯の技術的・経済的な利用を開拓し、これらの周波数帯への移行を促進する技術

イ おおむね5年以内に完了する研究開発課題であること。

(2) 提案方法について

提案資格に特に制限はありません。

提案される方は、別紙¹（Word）の様式に必要事項を日本語にて記入の上、提出期限

（平成22年3月3日（水）17時必着。）までに電子メール、ファクシミリ又は郵便により次の提出先まで提出してください。

（提出先）

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館10階

総務省総合通信基盤局電波部電波政策課開発係

電話：03-5253-5876

FAX：03-5253-5940（送信後、電話にて着信確認してください。）

電子メール：wireless-rd_atmark_ml.soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「_atmark_」を@に置換してください。）

4 提案の取扱い

(1) 提案いただいた内容は、今後の電波資源拡大のための研究開発において、平成23年度から新たに実施する案件を検討するに当たっての基礎資料として活用させていただきます。この過程において、当方より提案内容に関して照会させていただくことがあります。

(2) 提案いただいた研究開発課題のうち、優先的に取り組むべきとされたものについては、有識者による評価会等を経て、平成23年度からの実施に向けて総務省において所要額の予算要求等を行います。

5 その他

今回の御提案をもとに平成23年度から実施する研究開発については、平成23年3月ころを目途に委託先公募を実施する予定です。

別紙及び詳細については、総務省の報道発表Webページをご参照ください。
<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban09_000030.html>

編集後記

月日が経つのは早いもので、私は来月で当会に着任して丸一年になります。着任当初は、全くの畑違いの業務に途惑うことばかりで、どうなることかと思いましたが、今では職場や仕事にはだいぶ慣れ、有意義な会社生活を送れるようになってきました。

しかし、実は一向に順応できないこともあります。それは、混雑率ワーストランキング上位路線ということもありますが、朝の通勤ラッシュアワーです。あの尋常でない満員電車で、肉体的には持病の腰痛をかばいながら、精神的には地下鉄のため外の風景も観えない閉鎖的な空間での毎日の通勤は、当会に着く頃にはすでに一日分の疲労感で一杯です。

先日はなんと、電車が揺れ体勢を崩した拍子に奥歯が欠けてしまい（元々虫歯でもろくなっていたらしい）、現在、歯科医院通いの日々です。

(S.K)

[ページの先頭に戻る ▲](#)